

第1章 調査の概要等

1 調査の目的

「第3期子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和7年度～令和11年度）の策定に向けて、市内に居住し、子どもを養育する家庭の生活実態、子育てサービスの利用状況や希望等を把握し、計画へ反映させることを目的とする。

2 調査の方法

- ・調査区域：市内全域
- ・調査対象：
 - ①市内在住の就学前の子どものいる保護者…「就学前児童保護者調査」（以下「就学前児童調査」と略記する）
 - ②市内在住の小学生の子どものいる保護者…「小学生保護者調査」（以下「小学生調査」と略記する）
- ・抽出方法：「就学前児童調査」及び「小学生調査」は無作為抽出
- ・実施方法：郵送配付 郵送又はオンライン回収の併用
- ・実施時期：令和6年1月5日（金）～1月22日（月）

3 回収結果

調査区分	対象者数	有効回収数	有効回収数合計	有効回収率
① 就学前児童調査	2,000人	794票	1,184票	39.7%
② 小学生調査	1,000人	390票		39.0%

4 調査結果を読む際の留意点

- アンケート選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- 表・グラフ中、整数は回答者数（単位：人）を、小数第1位までの数値は百分率（単位：%）を、それぞれ表している。
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数（単位：人）を基数（n）として、小数第2位を四捨五入して少數第1位までを表示している。そのため、合計が100%にならない場合がある。
また、nが100に満たない場合は百分率（%）を用いて分析を行うことが統計的に正しくないため、分析は実数を用いて行っており、グラフのかわりに表を掲載してその実数が分かるようにしている。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- 年齢等“クロス集計”の表中においては通常、当該項目（年齢等）に関する無回答者がいる関係で、各クロス項目（年齢等）ごとの回答数を足し上げた結果と全体回答者数は、一致しない。